

島の暮らしと観光を支える バスの安心安全を担う



有限会社和人組 バス事業部
さんまりん観光 主任

おおしげ せいいちろう

大重 誠一郎 さん

- ✓ 宮崎県出身
- ✓ キャリアアップのために異なる業種へ転職
- ✓ 趣味はゴルフ

人との縁で 仕事を選択するという生き方

「縁のある出会いがあったからここにいる」そう話す大重さんは宮崎県出身。種子島に移住する理由として、豊かな自然環境や、島ならではのゆったりとした時間の流れなどをイメージしますが、大重さんは「きっかけは人です」と話してくれました。

学生時代まで宮崎で過ごし、その後、熊本や鹿児島でホテルスタッフとして勤めていた大重さんは、知人からの誘いを受け、種子島へ移住。3年ほど働き、一度は島を離れましたが、「また種子島に戻ってうちで働いてみないか？」と社長に声を掛けられ和人組へ転職。これまでとは全く異なる業種でしたが、「知らないことだからこそ面白かった。勉強にも経験にもなる」と、ガソリンスタンド勤務からキャリアをスタートさせまし

た。現在、大重さんは島の生活や観光においても重要なバスの運行にまつわる運営・管理業務を担っています。

道路や河川工事をはじめ、交通弱者にとって必要不可欠な公共交通の運営など、地域の人々を支えるインフラの整備や運営を担う和人組。種子島に暮らす人々を支える縁の下の力持ちとして、大重さんは今日も業務にあたります。



この職業・会社に 興味がある方へ一言

建設、エネルギー、バス運行と複数の事業があります。私の場合、入社後すぐはガソリンスタンドで働き、接客マナーを学びました。次のステップとして、運行管理者(旅客)の資格を取得し、バスの運行に関わりました。働くことを通して、様々なキャリアを積んでいくことができます。



おもてなしのプロ ホテルニュー種子島の支配人



ホテルニュー種子島 支配人

まつだ まなぶ
松田 学 さん

- ✓ 大阪府堺市出身、種子島育ち
- ✓ 高校卒業後関西へ
- ✓ 種子島火縄銃保存会副事務長

「失敗は成功のもと」 おもてなしの心で島を伝える

屋久島出身の父と種子島出身の母を持つ松田さんは、種子島にもゆかりが深い大阪府堺市で生まれました。幼少期に種子島へ移り住み、高校まで西之表市で暮らし、高校卒業後は関西で就職。持病の腰痛が悪化したことをきっかけに種子島へ戻ってきました。

「人と人の距離が近い島で職を転々とするのはしたくない。長く続けられる仕事をしよう」と覚悟を決め、就職活動を開始し、ホテルニュー種子島へ入社。フロント業務を中心に様々な経験を経て、30代半ばで支配人となりました。

失敗を繰り返しながらも挑戦を続けてきたと語る松田さんのモットーは「失敗は成功のもと」。今でも自ら表に立って接客することが大好きだと話します。

「ホテルを訪れた方々からお礼のメモ書きやお手紙をいただいたり、スタッフの対応に対してお褒めの言葉をいただいたりするなど、お客様に喜んでいただけたときはとても嬉しいです」とやりがいを教えてくれました。松田さんは種子島火縄銃保存会の副事務長も務め、イベントで実演を行うなど日々、島内外に種子島の魅力を伝えています。



この職業・会社に 興味がある方へ一言

まずは元気よく、そしてしっかり挨拶ができること。特別な知識や心構えは必要ありません。また、これまでの経験や、たまたま取得した資格でもいつか役に立つことがあるかもしれないので、目の前のことに一生懸命取り組んでください。

